児童の安全確保を

警察・関係団体と連携を図る

新家　勇二　議員
市　長

Q 児童の安全確保について

A 警察及び関係団体と連携を図り、児童のみでなく市民全体を考慮し、不審者等の情報は市内放送などで迅速に対応して安全確保する。

Q 就職支援について、当市においても、地域の教育機関や地元企業と連携を図り、若年層就職支援、Uターン就職支援策等の取り組みが求められていると感じる。今後の市の雇用状況に対する認識とその対策は。

A 地元の教育機関と密接な連携を図るとともに、「広報えたじま」等を利用し、情報の提供をしていく。

▲児童の安全確保のため門を閉めた小学校

納税貯蓄組合の再構築を

加入の方向で検討する

扇谷　照義　議員
市　長

Q 本市では、納税貯蓄組合制度が廃止されている。今後、再構築される考えはありますか。
同組合制度は、全国的ネットであり、本市も広島南税務署に7月1日から入ります。ぜひ、同組合に加入してください。

A 納税貯蓄組合連合会や広島南租税教育推進協議会につきましては、加入の方向で検討してまいります。

▲振替納税推進をPRする立看板

沖野島橋付近の道路拡張は

用地確保が難航

部谷　健司　議員
市　長

Q 大柿町沖野島橋付近の道路拡張ができない理由は何か。

A 地主に行政不信があり、理解が得られないということで交渉に入れない。

Q 市長は地主の行政不信を取り除く努力をする心構えはありますか。

A 状況を把握し、やるべきチャンス・時期もあります。

Q 給食用運搬車を20年位使用しているが、更新の基準はあるのか。また、運搬車の事故等が発生した場合の対応は十分なのか。

A 更新の基準はない。使用期間の長い車は更新の検討をしている。事故等の発生の場合の対応は十分である。

Q 大柿町にある第二配水池は、約9，200人の利用者があるが、配水池は老朽化している。改修及び車の進入路の計画はいつか。

A 改修計画は平成27年ころで、その時に進入路も検討する。

▲道路拡張が望まれる大柿町沖野島橋付近

協議会・審議会の名称	進捗状況
ふるさとづくり推進協議会	平成17年3月28日設立 旧4町×10名＝40名
総合計画審議会	年内に立ち上げる
行財政改革審議会	平成17年5月9日設立
交通問題対策協議会	検討中
イノシシ被害対策協議会	平成17年3月設立
特別職報酬等審議会	新議会の体制ができてから
学校統合検討委員会	年内に立ち上げる

新しい協議会・審議会は

2年間で基礎を作る

住岡　淳一　議員
市　長

Q 市長は、自ら多くの公約を言われている。その中の新しい協議会・審議会の進捗状況は。

A 基本的な事項であり、2年間で基礎を作る。
進捗状況は、上記の表のとおりです。

Q それぞれの会の委員選出の方法は。

A 人選は、幅広く、それぞれの協議内容を整理し検討する。できるだけ重複は避けるが、バランスを取りながら役割分担を明確に効率的な運営方法など精査し対応します。

Q 情報公開条例が施行されています。傍聴はできますか。構成委員の名簿やプロセスから結果に至るまでの告知の方法は。

A 可能な限り傍聴も含めて情報開示はするが、情報が独り歩きをしたり審議を阻害することもあるので、臨機応変に対応します。